

挑戦することを 応援してくれる先生と仲間

和歌山県立医科大学 医学部 西尾 勇輝

「人生棒に振る気ですか」「文武両道なんて贅沢」、、、実際に自分が数えきれないほど言われてきた言葉です。

私は高校生の時、オーストラリアでのコト留学のため一年間休学をし、和歌山県立医科大学に進学後も東京オリンピックを目指し再び一年休学しました。このように、オリンピック出場を目指しながら医者も目指すという一風変わった経歴を持っています。五輪は途中で代表圏内でしたが、コロナ禍の影響で選考方法の変更などもあり残念ながら補欠となってしまいました。

「失敗するぐらいなら初めから挑戦しない方がいいのでは？」という意見もあります。しかし、短い人生挑戦しない方が後悔すると私は思います。五輪に出場することはできませんでしたが、たくさんの人と一緒に夢を見てスポンサーまでついで頂き、数えきれないほどの貴重で忘れることのない体験が挑戦の中にはありました。来年からは小学校からの夢である医師になります。

文武両道は望みすぎた理想論と捉える人が多いのが現状です。しかし、私が挫けず進めたのは桐蔭中学校時代、先生があらゆることへの挑戦をサポートしてくれ、そしてそれを笑わず素直に讀んでくれる友達がいてくれたからです。また、桐蔭中学校では勉強時間に負けないくらいに発表の機会があり、今のプレゼン力に繋がっていると実感しています。

もし皆さんが将来様々なことに挑戦したいなら、桐蔭中学校で自ら行動することをおすすめします。それに応えてくれる先生と仲間がそこにはいて、あなたの支えとなるでしょう。あと必要なのは、あなたの一步を踏み出す勇気だけです。



桐蔭中学校は、あなたの可能性を信じてくれる先生方や、切磋琢磨できる一生ものの友人と出会える場所

東京大学 教養学部 文科一類 和田 ともか

桐蔭中で印象に残っていることは、授業を通して暗記とは違う本質的な考え方を教えてくれたことや、プレゼンやスピーチなどのスキルを鍛えられる場がたくさんあったことです。また、音楽部で仲間と一所懸命に練習したこと、校内弁論大会や和歌山市暗唱大会などで先生方の親身なサポートを受けて、スピーチや詩の朗読などの言葉による表現を追求できたことは今の私の財産になっています。



桐蔭中学校での学びや経験が生きているなど感じていることはたくさんあります。授業中とそれ以外の時間のメリハリをつける桐蔭中で学んだ勉強のやり方は大学受験の時まで役立ちました。桐蔭中で身につけた合唱の基礎は高校の部活で関西大会や全国大会を目指す力になり、大学の合唱団でも役立っています。また、高3で出場した全国高校生弁論大会で大分放送賞を頂けたことや大学の国際交流イベントで司会を務めて場を盛り上げることができたことも、桐蔭中でのプレゼンやスピーチの経験があったからだと思っています。

大学では、東大の前期課程で1番ハード(らしい)ゼミに入り、スバルタの授業をとりまくり、サークル、バイトなども挑戦したいものにはすべて飛び込んでいます！自分を周りと比べて落ち込むこともあります。才能豊かで優秀な友人たちと支え合い、高め合い、学問も遊びも最大限楽しんでいます。

桐蔭中学校は、あなたの可能性を信じてくれる先生方や、切磋琢磨できる一生ものの友人と出会える場所です。ここで得られる全ての経験が、あなたの学びであり財産です。自分の限界を自分で決めずに挑戦し、努力し、桐蔭中学校に来てください。そして、最高の青春を送ってください！



桐蔭中学校についてお答えします。

Q1 桐蔭中学校の特色を教えてください。

特色の一つは、生徒の主体性を重視し、特定の分野にかたよることなく幅広く学び、じっくり自分の進路や将来のことを考えることができます。また、生徒が個々に考えを出し合い、相互の学び合いにより高まる授業をめざすことにより、思考力・表現力等の育成を行っていることも本校の特色です。

また、学校周辺には県立博物館、県立近代美術館等、様々な学びの環境が整っており、放課後等の課外活動を充実させることで、本物の学びを体験することができます。

Q2 どのような生徒に適した学校なのか。

本校では、充実した質、量の学習内容に取り組み、自分の言葉でしっかり表現する機会が多くなります。進んで学習に取り組める強い意志をもっている人、目標をもち、自分の個性や才能を伸ばしたいという意欲にあふれ、前向きな気持ちで努力を続けていくことができる人に適した学校であると考えています。

Q3 入学者選考について教えてください。

小学校で学んだことにもとづいて、適性検査や作文、面接を実施します。思考力や判断力、表現力、課題解決能力などをみて、総合的に選考します。

Q4 授業料など必要な経費について教えてください。

出願時には、選考検査手数料が必要です。義務教育ですので入学金や授業料、教科書代金は必要ありませんが、教材費、PTA関係費等の諸費用は必要となります。



交通アクセス

- バス** JR和歌山駅及び南海和歌山市駅から和歌山バスに乗車
小松原5丁目バス停から徒歩5分
- 自転車**
- JR和歌山駅から 約20分
 - 南海和歌山市駅から 約20分
 - JR宮前駅から 約10分